

ブラックマネー

一ノ宮美成& グループ・K21



漢検協会本部

本連載既報の『公益財団法人・日本漢字能力検定協会』（以下・漢検協会、本部・京都市東山区、代表理事・高坂節三氏）が、大久保昇・元理事長父子に対し親族企業4社との取引で約25億円の損害を受けたとして賠償を求めていた訴訟が5月14日に大阪高裁で和解した。

和解内容は、元理事長側が解決金として計約6億円

（うち約2億5000万円は支払い済み）を漢検協会に支払うというもの。漢検協会をめぐっては、2009年6月に大久保元理事長父子が京都地檢に背任罪で起訴され、「14年12月、最高裁で懲役2年6月の有罪が確定している。

すでに刑期も終了し、継続中だった民事訴訟ともどもすべて終結したと思われていたが、実は和解問題に關して、別の民事訴訟がまだ続いているのだ。背景にあるのは、漢検協会と業務委託契約を締結し、漢検協会の『漢字文化振興コンソーシアム設立準備室副室長』の肩書で動いていたA氏。A氏は『一般財團法人・京都平安振興財団』代表理事で、昇氏の長男である

続漢検協会「5000万円不当要求事件」【前編】

大久保浩・元漢検協会副理事長に対する「5000万円不当要求事件」に深く関与したという。詳細は後述するが、この「5000万円不当要求事件」によって、大久保元理事長父子と漢検協会側との和解交渉（09年9月11日スタート）が潰されたことから、「15年11月19日、元漢検協会副理事長の大久保浩氏は、先のA氏（裏千家・千玄室元家の元秘書、公明党国会議員元秘書）、漢検協会専務理事・K氏（元公明党京都市議）、漢検協会を相手取り、1260万円の和解妨害行為損害賠償請求訴訟を起こしたのだ。このうち漢検協会への請求は、5月14日

1949年大分県生まれ。同志社大学文学部卒。新聞記者を経てフリージャーナリストに。グループ・K21との著書に『闇の帝王〈許永中〉』『京都の裏社会』山口組と王将社長射殺事件の聖域』『同和利権の真相①~④』（以上、宝島社）、「橋下「大阪改革」の正体」（講談社）など多数。

に「和解」したことから取り下げた。

訴状によると、「500万円不当要求事件」とは、大久保氏側と漢検協会側との和解交渉が進んでいた中の'11年3月5日、突然、大久保浩氏の元にK氏の意

元副理事長を恫喝したA氏

3月11日の最初の面談場

所は京都市内の飲食店。この席でA氏は「Kの方から大久保さんさえよろしければ、和解の意思は十分にあるので、その辺りを聞かせてほしいというのがあって、本気です」と、和解話を始めた。そして、京都で起業、わずか5年でNTTドコモ代理店になり、いままでは東

証一部上場の実質的オーナーを務めるT氏という人物について、こう切り出した。「Kさんは、大久保さんの意向を聞いてほしいということでしたので、一つ

はそれがある。もう一つはTさんを外したい」「なぜかというと、僕はもう（T氏と）30年の付き合いでなんですが、Kさんとはもつと長くて40年近いんですけど、僕がKさんにTさんを紹介したんです」

「Kさんが決定的に嫌がっているのは、『Tは反社会的勢力でしょう。認定を受けていますよ』というのがあります、確かにTさんの周りには多いんです」

向を受けたA氏から「これまで和解に反対していた（当時の）池坊保子・漢検協会理事長が解任されたから面談したい」とする申し出があった。そして、同月11日、14日及び8月13日に面談が行われた。

さらにA氏は、T氏が地元京都の指定暴力団会津小鉄会の当時の会長や、同運動団体のトップの秘書と懇意にし、それを背景に様々な仕事をしていると説明した。A氏はT氏の話を絡めたうえで、大久保氏にK氏に50000万円を謝礼として支払うことが漢検協会と和解をするための条件とした。そしてA氏は、「Tさんからお金の話は何が出ましたか？」

「Kさんはきれいごとを言わわけではない、欲しいんです」

「なのでその辺りを含めて、だから言うと逆にTさんは外したいというのもあるのですが、一切合切そういうことを含めて和解を考えませんかということだろうと思います」

3月14日の2回目の面談は京都ホテルオーラ1階カフェで行われた。

大久保氏はA氏に対して「正式に依頼していない。もう少し考えさせてください。ここで和解のための礼金をKさんに払うのは賄賂に当たるんじゃないですか。その片棒を担ぐことになりませんか」と話を向けたところ、A氏は態度を豹変させ、今にも飛びかかるばかりの勢いで大久保氏を睨

よ」と、「僕が返すんですか」とかTさんは言っているんですが、財団運営は何も僕だけの責任ではない。Kさんは返さないとはつきり言っている」

「いや、分かりました。いいです。返すから』って、言つてたんですね。返さないとは言つていらない。そしたらその時、じゃあ、500万円を大久保さんから頂いたら、30000万円は返してもらつて、20000万円はKに渡したらええやん」という話は確かにあつたんですね」

0万円を大久保さんから頂いたら、30000万円は返してもらつて、20000万円はKに渡したらええやん」という話は確かにあつたんですね」

0万円を大久保さんから頂いたら、30000万円は返してもらつて、20000万円はKに渡したらええやん」という話は確かにあつたんですね」

0万円を大久保さんから頂いたら、30000万円は返してもらつて、20000万円はKに渡したらええやん」という話は確かにあつたんですね」

0万円を大久保さんから頂いたら、30000万円は返してもらつて、20000万円はKに渡したらええやん」という話は確かにあつたんですね」

みつけながら、怒氣を含んだ口調でこう述べたといふ。「この前は分かったと言つたじゃないか。誰に入れ知恵されたんだ。もうすでにKはHさん（漢検協会理事）故人）や高坂理事長に話をつけているだ」と言ひながら、足でテーブルを蹴り上げた。さらに、A氏は「今さらヤメだなんて言つたらどうなことになるのか分かっているのか。それに賄賂とは何だ。人へのものを頼んだら誠意を見せるのが当たり前じゃないか」とすごいだという。

いよいよ、A氏が本性を現したというところか。「5000万円不当要求事件」は次回に続く。



A氏が約変した2回目面談

